

# あなたの理想とする「がん医療」とは？

がん患者さんも、ご家族も、これまで「がん医療」について考える機会がなかった皆さんも、ぜひ一緒に考えてみませんか？

## オンコジードリームチーム・キックオフ・フォーラム

### マイドリ

3月21日(日) 13時～16時30分(開場12時30分) **マイドリーム**  
東京有楽町マリオン内 有楽町朝日ホール

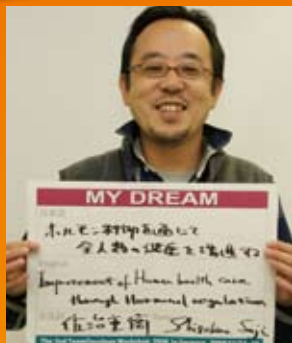
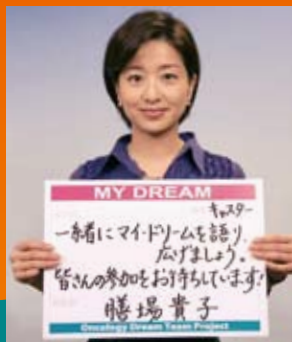
共催：一般社団法人 オンコロジー教育推進プロジェクト、  
財団法人 日本対がん協会、NPO 法人 キャンサーネットジャパン

協賛：アストラゼネカ株式会社、大塚製薬株式会社、小野薬品工業株式会社、  
グラクソ・スミスクライン株式会社、大鵬薬品工業株式会社、  
中外製薬株式会社、日本イーライリリー株式会社、日本化薬株式会社、  
ノバルティスファーマ株式会社、バイエル薬品株式会社、  
ファイザー株式会社 (50音順)

財団法人パブリックヘルスリサーチセンター JPOP 委員会

後援：アメリカ大使館

協力：財団法人 聖ルカ・ライフサイエンス研究所



## プログラム

オープニング  
(13:00～13:10)

総合司会：膳場貴子 (TBS ニュース23 キャスター)  
**共催者よりご挨拶**

第Ⅰ部  
(13:10～14:30)

基調講演 1

### 「日本の医療の現場からがん医療を考える」

① 医療者の立場から

佐治 重衡

(埼玉医科大学国際医療センター 腫瘍内科・准教授)

② 患者の立場から

桜井 なおみ

(がん・ソリューションズ株式会社 代表取締役 / がん体験者)

基調講演 2

### 「なぜ今“思いや夢を語ること”が大切なのか」

上野 直人

(テキサス大学 M.D. アンダーソンがんセンター 腫瘍内科・教授 / がん体験者)

休憩 (14:30～14:45)

第Ⅱ部  
(14:45～16:25)

パネルディスカッション

### 「私の夢 My Dream から 私たちの夢 Our Dream へ」

司 会：膳場貴子

パネリスト：岩瀬 哲 (東京大学医学部付属病院 緩和ケア診療部・副部長)

岸本 葉子 (作家 / がん体験者)

佐治 重衡

上野 直人

桜井 なおみ

50音順・敬称略

ドリームメイキング・セッション

### 「伝えよう、がん医療のマイ・ドリーム」

進行 役：上野 直人

クロージング  
(16:25～16:30)

今後のオンコジードリームチームの活動と展開について

みんなでつくりよう! がん医療のドリームチーム オンコジードリームチーム ホームページ

<http://www.oncology-dreamteam.org/>

司会・演者プロフィール



**膳場貴子** (ぜんば たかこ)

TBSテレビ報道局『NEWS23メインキャスター』。  
 東京大学医学部健康科学・看護学科卒業。  
 1997年にアナウンサーとしてNHKに入局。静岡放送局を経て、2000年春から東京勤務。  
 2006年3月、NHKを退職し、2006年9月よりTBS『NEWS23』のサブキャスターに就任した。  
 2009年3月30日よりメインキャスターを務めている。



**佐治重衡** (さじ しげひら)

埼玉医科大学国際医療センター腫瘍内科・准教授。1968年生まれ。  
 1992年岐阜大学医学部卒業、東京都立駒込病院臨床・専門研修医、岐阜大学医学研究科院生、  
 埼玉県立がんセンター研究所研修生、カロリンスカ研究所博士研究員、  
 都立駒込病院乳腺外科・臨床試験科医長を経て、現在に至る。専門分野は乳がんに対する内分泌療法。  
 M.D.アンダーソンがんセンター留学研修を機にJapan TeamOncology Program (J-TOP)のチューターとしても活躍中。



**桜井なおみ** (さくらい なおみ)

キャンサー・ソリューションズ株式会社代表取締役。NPO法人HOPEプロジェクト理事長。  
 1967年東京生まれ。2004年夏、30代でがんの診断を受ける。その後、2006年より自らのがん体験や社会スキルを活かし、  
 小児がんを含めた子育て世代・働き盛りのがん患者支援活動を開始。  
 2007年には東京大学医療政策人材養成講座へ参加。筆頭研究者として「がん患者の就労・雇用支援に関する提言」を発表、  
 最優秀賞とDREAM賞を受賞。他、2008人間力大賞会頭特別賞受賞、2007年度エイボンHellow Tomorrow受賞。  
 現在もサバイバーシップの啓発・普及を目指して奔走中。



**上野直人** (うえの なおと)

米国テキサス大学 M.D. アンダーソンがんセンター・教授。1964年生まれ。  
 和歌山県立医科大学卒業。腫瘍分子細胞博士。1993年に米国内科専門医、1996年に腫瘍内科専門医の資格を取得。  
 乳がん、骨髄移植、腫瘍分子細胞学、遺伝子治療を専門としている。  
 現在、がんの治療効果を最大にするための患者中心のチーム医療の普及に力をいれ、  
 ジャパン・チームオンコロジー・プログラム (J-TOP) のチェアパーソンとしても活躍。



**岩瀬 哲** (いわせ さとる)

NPO 法人がんネットジャパン理事長。1963年生まれ。  
 1994年埼玉医科大学総合医療センター外科研修医、1996年埼玉医科大学総合医療センター放射線科医員、  
 1997年東京都立老人医療センター放射線科助手、1998年東京大学医学部附属病院放射線科医員、  
 2003年東京大学医学部附属病院緩和ケア診療部助手、  
 2003年東京大学医学部附属病院緩和ケア診療部副部長として現在に至る。専門は乳癌治療と緩和ケア。  
 「標準治療」の普及をライフワークとし、2009年11月よりNPO 法人がんネットジャパン理事長を務める。



**岸本葉子** (きしもと ようこ)

作家。1961年神奈川県生まれ。東京大学教養学部卒業後、エッセイストに。2001年に虫垂がんの手術を受ける。  
 著書に『がんから始まる』『四十でがんになってから』『がんと心』(いずれも文春文庫)  
 『ほどほどがだいじ がんから5年』(文藝春秋)、近刊は『おひとりさまのはつらつ人生手帖』(角川文庫)。  
 執筆の他、がん啓発活動に携わり、NPO 法人 HOPE プロジェクトとの共著『希望の言葉を贈りあおう』(清流出版)を出版。  
 岸本葉子公認サイト <http://www.kishimoto-fan.com>